

体験型ダイバーシティ教育プログラム

# スポ育<sup>®</sup>

## ご案内

(実施期間：2026年4月～2027年3月末まで)

<https://supoiku.b-soccer.jp/>



特定非営利活動法人  
日本ブラインドサッカー協会  
事業推進部 D&Iグループ

## ビジョン

ブラインドサッカーを通じて  
視覚障がい者と健常者が  
**当たり前**に混ざり合う社会を実現すること

## ミッション

ブラインドサッカーに携わるものが 障害の有無にかかわらず  
生きがいを持って生きること



©H. Wanibe/JBFA

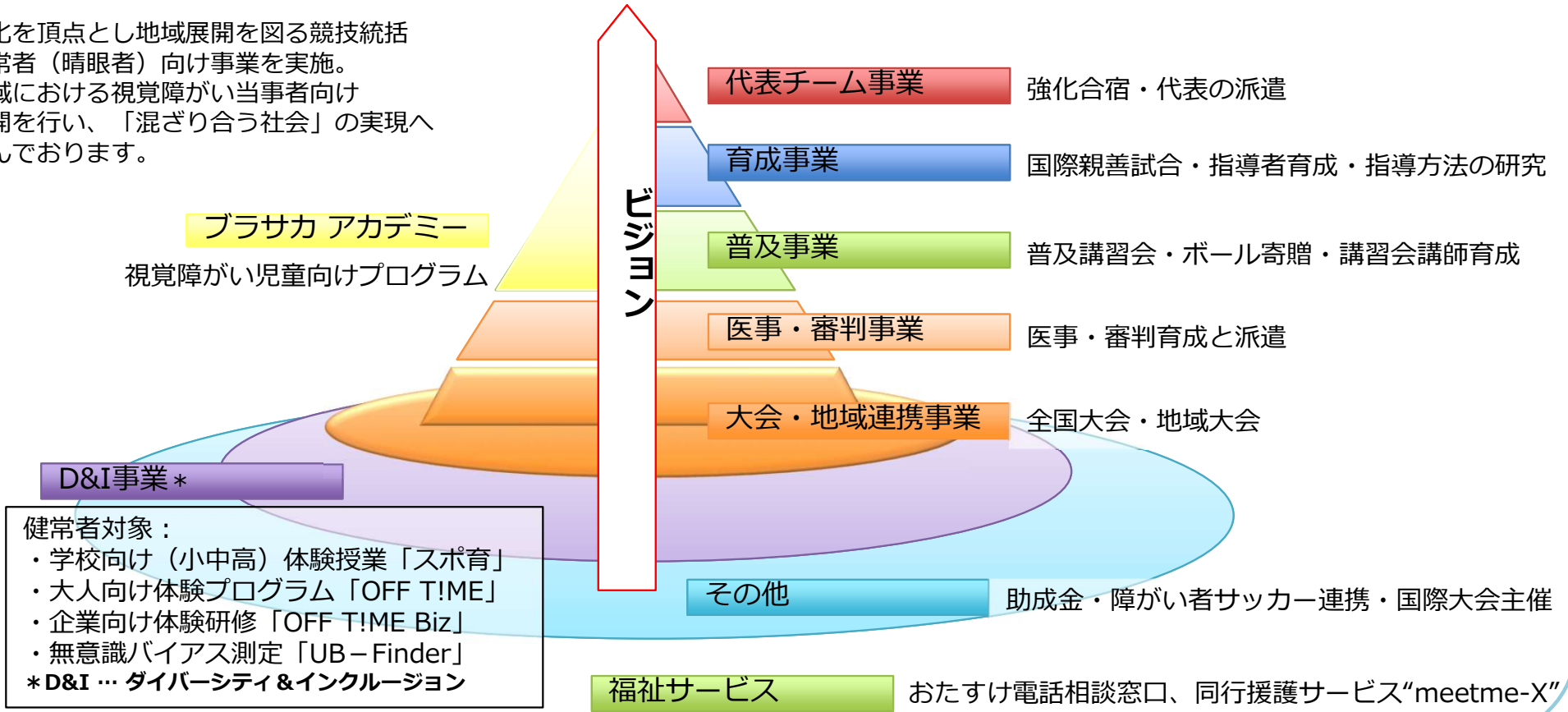
# 協会事業概要、私たちが目指す社会

競技団体としての育成・強化のみならず、ブラインドサッカーを活用し、

ダイバーシティあふれる社会を目指す具体的なプログラムが **スポ育** です。

## 競技統括 × 社会課題解決

日本代表強化を頂点とし地域展開を図る競技統括と共に、健常者（晴眼者）向け事業を実施。また福祉領域における視覚障がい当事者向けサービス展開を行い、「混ざり合う社会」の実現へ向け取り組んでおります。



2010年秋から私たち日本ブラインドサッカー協会が実施している  
小・中・高校生を対象としたダイバーシティ教育プログラムです。

視覚障がい者と健常者が同じフィールドに立ち、ゴールキーパー以外の全員が視覚を遮断された状態で行うブラインドサッカー。

視覚に障がいのある選手らが講師となって  
触れ合い、ブラインドサッカーボールを使った  
さまざまなワークを体験してもらうことで、  
障がい者への理解促進だけでなく、

相手を思いやる想像力

チームプレーを進める上でのコミュニケーション力

など、子どもたちに多くの気づきや学びを提供しています。



©JBFA

## コミュニケーションの 重要性

視覚に頼らないから、声を出すことや聞くこと、相手を思いやる気持ちなど、コミュニケーションの重要性に気づけます。

## 障がい者への 理解促進

スポーツを介して視覚障がい者と接することにより、「障がい者=特別な人」ではなく、自分と同じ「当たり前の存在」として受け止めることができます。

## チームワーク の大切さ

目が見えない状態のため、積極的に仲間と支え合わなければ成し遂げられないことがあります。仲間との信頼関係の大切さを実感できます。

## スポ育が提供する 6つの学び

## チャレンジ精神 の醸成

仲間に頼り、支えてもらいながらも、勇気をふり絞って自分自身で課題を乗り越えていく気持ちの大切さを体感できます。

## 個性の尊重

ハンディをもつことでわかる、自分の得意なことや苦手なこと、強みや弱み。そうした一人ひとりの違いや多様性を認識したうえで、さらに自分に何ができるのかを考えられます。

## ボランティア精神 の育成

ボランティアは難しいことや特別なことではなく、自分の個性を生かして行えることだと気づき、積極的に人の力になろうという姿勢を学べます。

お申込み時にご選択ください。

## 対面体験型

ファシリテーター派遣型  
参加者全員のアイマスク体験と  
ボールワーク体験あり



## オンライン座学型

ファシリテーター非派遣型  
座学形式でのオンライン授業  
ボールワーク体験無し



※内容は変更になることがあります。

実施可能地域	全国
費用	無料(但し、実施会場の地域によっては交通費・宿泊費を負担していただくことがあります)
授業時間	(事前学習)45~50分間 (体験学習)1回90分間(休憩5-10分間含む) (事後学習)45~50分間
1回あたりの参加可能人数	(体験学習)1クラスまで(参加者の安全のため原則少人数での実施)
内容	事前学習…ブラインドサッカーを知る(先生、指導者の方にて実施) 体験学習…アイマスクやブラインドサッカーボールを使用した体験学習。ブラインドサッカーをベースにした独自プログラムの体験やブラインドサッカー選手との交流で、ボランティアや障がいについて理解する(ブラインドサッカー選手とファシリテーターにて実施) 事後学習…体験学習で得た気づきや学びの振り返り、今後どのように生かしていけるか考える(先生、指導者の方にて実施)
ねらい・気づき	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ブラインドサッカーやワーク体験を通して、ブラインドサッカー選手や友達同士のコミュニケーションからたくさんの学びがあることを体感する</li><li>・ 6つの気づきを子どもたち自ら気づき、考えを深め、それを実践することで理解を深める</li><li>・ アイマスクをしたときの体験から、視覚障がい者の気持ちを理解する</li><li>・ 他のスポーツと同じように友達に声をかけるので、アイマスクしている友達にも声をかけやすくなり、より障がい者を身近に感じる事が出来る</li></ul>
備考	試合や技術向上が目的ではないため、競技の体験ワークはありません。

# 対面体験型 体験学習の内容(例)



## 導入 (10分)

選手・ファシリテーターの自己紹介  
ブラインドサッカーのルール説明や選手のデモンストレーション



## ワーク1 《ブラインドワーク (15分)》

アイマスクをつけて、ペアで準備体操



## ワーク2 《ボールワーク (55分)》

アイマスクをつけてボールを使ったワークに挑戦！  
例) 宝探し／トラップ&パス／コーン当て競争



## まとめ、選手に質問! (10分)

選手から子どもたちに向けてのメッセージ

2020年撮影

※別途、途中5分以上の休憩時間

実施可能地域	全国
費用	無料
授業時間	(オンライン授業) 1回90分間(休憩5-10分間含む)
1回あたりの参加可能人数	(オンライン授業) 制限なし。但し、同一学年に限る
内容	<p>事前学習…ブラインドサッカーを知る(先生、指導者の方にて実施)</p> <p>オンライン授業…ブラインドサッカー選手・ファシリテーターと教室などをオンラインで繋ぎ、リアルタイムでコミュニケーションを取りながら座学授業を行い、選手とのオンライン授業で得た気づきや学びの振り返り、今後どのように生かしていけるか考える。座ったまま出来る簡単なブラインドワークも実施。</p> <p>事後学習…体験学習で得た気づきや学びの振り返り、今後どのように生かしていけるか考える(先生、指導者の方にて実施)</p>
準備いただくもの	ウェブ会議システム(Zoomなど) / PCやタブレットなどのインターネット端末 モニター・プロジェクターなどの投影機材 / 可能であればスピーカー、マイク
ねらい・気づき	6つの学びの中から障がい者理解、個性の尊重、ボランティア精神の育成をテーマに、選手とコミュニケーションをとりながら、子どもたち自ら気づき、考えを深める。
備考	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ファシリテーターとの事前お打合せ必須(接続テストを兼ねているため、当日と同じ環境で行ないます)</li><li>・ ボールを使う体験ワークは行ないません</li><li>・ ブラインドサッカー選手とファシリテーターの会場への派遣はありません</li><li>・ インターネットやPCなど、オンライン授業を行える環境を事前にご用意ください</li></ul>

## オンライン上で 選手と交流

カメラをONにして選手が授業を実施！  
使用するウェブ会議システムは  
学校に合わせて対応

\*JBFAでご用意も可能（ZOOMのみ）

\*先生方はクラス内の雰囲気を見ながら補助をお願いいたします

実施場所は

**教室や体育館**など、学校とJBFA互

いにネット環境が整った場所であればどこでも

OK！

## 選手と事前お打合せ

オンライン授業当日と同じ環境で、  
選手と事前お打合せを行うことで不安を解消！

## ブラサカボールの お貸出し

\*ご希望者のみ。お貸出しに係るお手続きと費用は  
学校にてご負担ください



## 自己紹介、競技紹介(15分)

選手の自己紹介、ブラインドサッカーのお話

## ワーク1<個人ワーク(20分)>

個人ワークで視覚障がいの個性を感じる (例)お絵描き

## 質疑応答(10分)

選手がどんな質問にも答えます!

## ワーク2<コミュニケーショングループワーク(30分)>

ブラインドサッカーから個性を考える (例)体操

## まとめ(15分)

選手から子どもたちに向けてのメッセージ



※別途、途中5分以上の休憩時間

スポ育の活動に共感いただいたパートナー企業さまご支援のもと、本プログラムを実施しています。  
各パートナー企業さまの取り組みは、教材「VOY」にも記載していますので是非ご覧ください。

## スポ育パートナー



ガスの温もりを、かたちに。



## <JBFAの登録商標について>

日本ブラインドサッカー協会は「ブラインドサッカー」およびブラインドサッカーに関連する活動のブランディング及び継続的な活動のために、知的財産権、登録商標についての管理・運用を行っています。

- ・ BLIND SOCCER ブラインドサッカー（第5086068号／第5893826号）
- ・ ブラサカ（第5900887号）
- ・ スポ育（第5564500号）

\* 詳細はHPをご覧ください：<https://www.b-soccer.jp/jbfa/rights>

## <ご参照>

- ・ 正式名称について  
ブラインドサッカーは英語表記で「Blind Football」と呼ばれます。和訳では公益財団法人日本パラスポーツ協会が「ブラインドフットボール」としています。JBFAは、「ブラインドサッカー」という呼称のブランド化に取り組んでおり、関連する呼称も含め「BLIND SOCCER」、「ブラインドサッカー」、「ブラサカ」を商標として管理・運用しています。
- ・ 「ブラインドサッカー（ブラサカ）」について  
「ブラインドサッカーを応援しています」という表現、文言はJBFAパートナー及びJBFAサプライサービスパートナー企業さまのみが使用可能です。
- ・ 「スポ育」について  
「スポ育を応援している」という表現、文言はスポ育パートナー企業さまのみが利用できます。
- ・ 「日本代表」について  
「日本代表」はスポンサー制度となっていますので、「ブラインドサッカー男子日本代表／女子日本代表／ロービジョンフットサル日本代表を応援しています」といったメッセージの打ち出しは、男子日本代表スポンサー企業／女子日本代表スポンサー企業／ロービジョンフットサル日本代表スポンサー企業さまのみとなっています。
- ・ 「パラリンピック」の名称について  
「パラリンピック」の名称は、国際パラリンピック委員会および日本パラリンピック委員会が管理する登録商標であり、許可なく用いることはできません。またウェブサイト、告知物等で「××社はパラリンピック日本代表を応援しています」等のメッセージを出すこともできません。
- ・ JBFAが派遣元とならない日本代表の国際大会について  
「日本代表」が国際的な大会に出場する場合、JBFAが直接派遣元となって出場する大会が一般的です。他方で、国際パラリンピック委員会やアジアパラリンピック委員会などが統括する国際大会は、日本パラリンピック委員会（JPC）が派遣元となり、JBFAはJPCに日本代表を推薦する立場となります。そのため、スポンサーの掲出や着用するウェアの規定はJPCのものに従うこととなります。そのため、「パラリンピック」「アジアパラゲームズ」などは、JBFAとの契約の対象外となります。

## <お申込み>

プログラムホームページ (<https://supoiku.b-soccer.jp/>) 内の  
専用フォームからお申込みください。

## <お問合せ>

特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会  
事業推進部 D&Iグループ スポーツプログラム担当者

Mail : [supoiku@b-soccer.jp](mailto:supoiku@b-soccer.jp)

Tel : 03-6908-8907 (平日11時~17時)

※お手数ですが、メールにてお問合せくださいますようお願いいたします。



©JBFA/タツノコプロ



'25/1 作成

特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27 ペアーズビル3F

TEL : 03-6908-8907



@JBFA\_b\_soccer



b.soccer\_official



@jbfa2002



Blind Football



@jbfa\_b\_soccer



Blind Football